

山梨県中央市の総合事業について（コミュニティバス実証運行）

計画事業

現況及び課題

- 鉄道は、JR身延線東花輪駅(特急停車駅)と小井川駅があり、甲府市方面の公共交通の中核となっている。
- 市内を走る民間バス路線は、10路線(行先は全て甲府駅)のうち、9路線が市北部の山梨大学医学部附属病院が終点となっている。
- 本市は、平成18年2月に、玉穂、田富、豊富の旧3町村が合併して誕生したが、上述のバス交通の現状から、特に、豊富地域、田富地域(ベットタウン化により人口増加中)から、山梨大学医学部附属病院やJR身延線の駅等へのアクセスが不十分である。

活性化の目標・方向性

- 公共交通が不十分な豊富地域、田富地域に、バスにより公共交通を導入し、同地域から、市の公共施設(JR駅、山梨大学医学部附属病院、ショッピングセンター等)へのアクセスの向上を図るとともに、市民の多くが利用するよう、情報提供、市民参画を進める。

実施する事業の内容

- 中央市コミュニティバス実証運行事業(平成21年7月～平成23年度)
 - ◆ ルート 田富地区(リバーサイド地区)－田富庁舎－小井川駅－山梨大学医学部附属病院－玉穂庁舎－東花輪駅－豊富庁舎－豊富地区
 - ◆ 本数 1日5往復
 - ◆ 運賃 200円(中学生以下、65歳以上の高齢者、障がい者は100円)
- 利用促進方策(平成21年度～平成23年度)
 - ◆ 市民のニーズ調査
 - ◆ 市広報、HPによる情報提供、高齢者に配慮したパンフレット作成
 - ◆ 病院、ショッピングセンターと連携した利用促進活動

山梨県中央市：総合事業の実施区域

